



ダイニングスペースにご一家が勢揃い。座ることでゆったりとした寛ぎが。目線が下がり、お孫さんとの会話もスムーズに。



既存のリビング

既存のキッチン
(北側)



リビングでご一家。懸案のリフォームを実現し、ご主人も安堵。



キッチンは使い勝手のいいサンウエーブ製品をチョイス。目の前が開口し、気分も爽やかに。



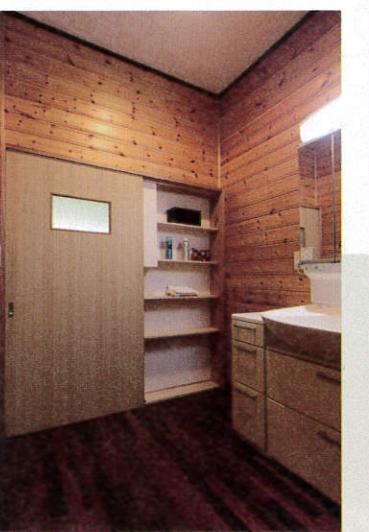
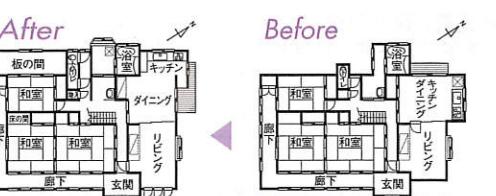
リビングからダイニング方向を望む。左側の磨き丸太の柱が和と洋の空間を巧みにつなげています。



リビング。3連の出窓とカーテンはご主人のお気に入り。



戸を開くと、また別の空間に早変わり。壁は味わいのある左官の塗り壁。建具にもこだわりが。



洗面室と浴室の壁は厚みがあり、それをを利用して収納スペースに。



今回、風水に従い、建物の形を整えるために設けた板の間。ご主人の書斎です。



座ると、一段と豊かな開放感が広がります。

北に設けたキッチンが鬼門に。
鬼門に三備を設けず。鬼門とは北東のこと、三備とはトイレ、台所、玄関のこと、この方角に水廻りなどを設けるのはよくないというのが風水の教えです。ご紹介する飯高様も今回、その風水の基本に則ってリフォームを実施しました。

増築により
家全体がほぼ正角に。

お住まいは築30年、坪55坪に及ぶ大型住宅で、お孫さんなども増えたことか

らリフォームを決意。専門家に相談したところ、風水の教えをアドバイスされました。二つが先ほどの鬼門、もう一つが家の形で、不自然に凹凸があるのは好ましくないということ。

そこで大きく張り出していた浴室のラインに揃えるように増築し、ここに(西面)キッチンを新設、またご主人のための書斎も増築。こうして家全体が正角に近くなりました。もちろん鬼門を避けています。

畳床のダイニングで和氣あいあい。

今回のリフォームのもう一つのポイント

はダイニングです。今では珍しい畳床なのです。ご主人によると「畳の暮らしは孫のしつけにもいいし、遊び回るにも安全。また子供の目線に合わせることができて安心です」と説明してくれました。隣り合わせたりビングとの段差ももちろんフラット。引き戸で仕切ることもでき、このLDKは便利な空間です。「光と風もよく通るようになり、開放感に溢れて、とても快適」とご主人。今回のリフォームに大満足です。

風水の教えに従い、リフォーム。